

平成 18 年 2 月 18 日 デジタル・アーキビスト実習

## 「デジタル・アーキビストが必要とする 8 方向の撮影・記録の実習」

### ～ 舞など動作をとまなう資料の多方向からの撮影 ～

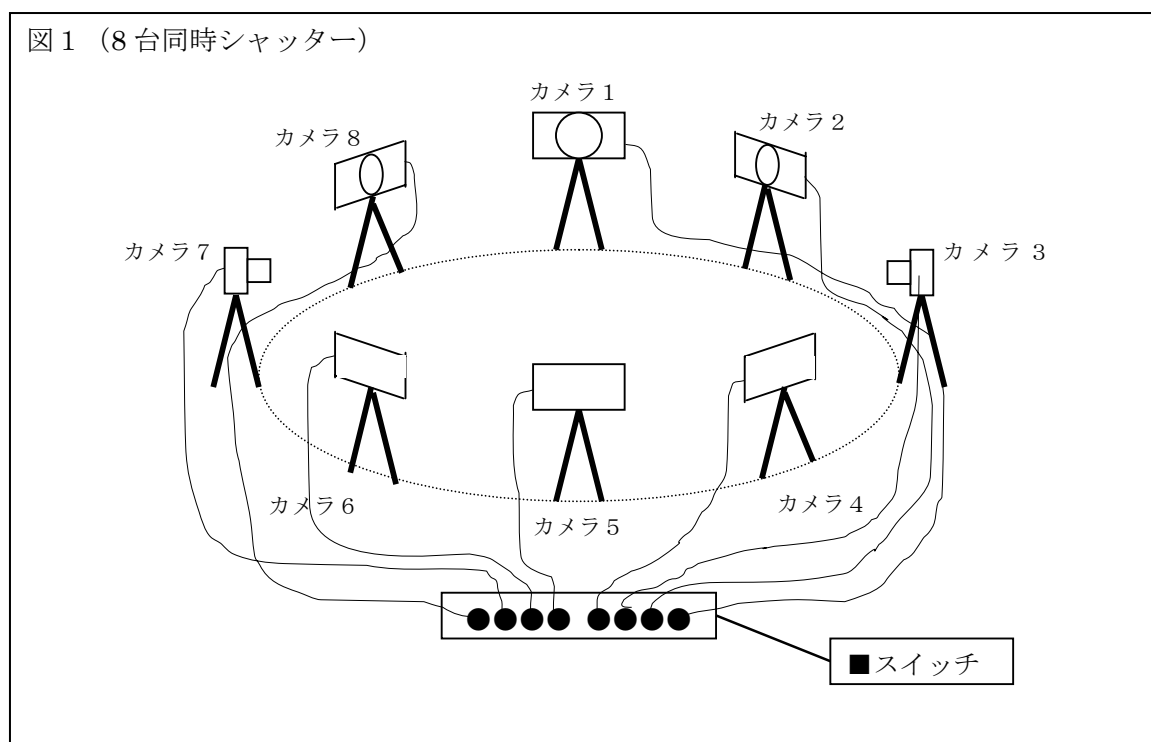
今回の講習会では、デジタル・アーキビストとして必要な多方向(8 方向)同時撮影方法とその処理について実習します。

デジタル・アーキビストの能力として、舞、舞台、文化、生活行動に対し、これまでの一方向からの記録から、各方向で記録した資料作りと文化の伝承に役立てる事が重要です。

たとえば、寺社等の舞の記録の多くは、後方からの記録が主であり、正確な伝承、新しい文化創造資料や研究資料記録として残すためには、前方や横からの撮影が必要になってきます。このため、今回、次のような撮影方法を学習します。

- ① 8 方向からデジタルカメラを用いた撮影
- ② 8 台のカメラを水平(同じ高さ)で同時撮影

その他照明、カメラ位置、同時撮影装置など、いろいろな問題点があり、それらを最適な状態で撮影できるようにする必要があります。たとえば、8 画面の写真が示すように、前に柱が二本あると、どうしても影になる場合もあります。しかし、8 方向から撮影すれば、動きの状況を知ることができます。



(岐阜県、郡上市 白鳥長瀧の国重要無形文化財「延年の舞」撮影位置の例)

<撮影の状況>



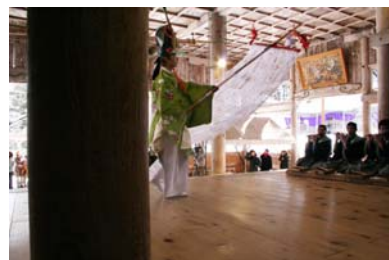
<8画面の表示の方法>



カメラ 8



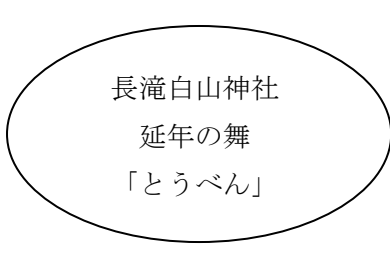
カメラ 1



カメラ 2



カメラ 7



カメラ 3



カメラ 6



カメラ 5



カメラ 4

8台のデジタル・カメラと同時シャッターの装置を実際に用いて、写真のように各方向から撮影を実習しています。この方法は歴史的な資料、動きのある舞等、ダンス、体操、理科の実験記録など多様な使い方があると思います。

ぜひ、この機会に新しい資料作りを検討してみてください。